

平成29年 死亡災害の概要

神 奈 川 労 働 局
〔確定版〕

番号	発生月 発生時刻	業 種 事業場規模	起因物 事故の型	発生概要
1	1月 5時頃	小売業 30名～49名	その他 起因物なし	早朝の出勤途中、駅前バスロータリーのベンチ付近で被災者が倒れているところを通行人に発見された。長時間労働による過重業務として労災認定されたもの。
2	1月 5時頃	陸上貨物運送事業 50名～99名	その他 起因物なし	被災者が自家用車を運転中、ゆるやかな左カーブで反対車線に進入し、そのまま反対車線側の商業店舗に激突したもの。死亡原因は、腹部大動脈瘤破裂による失血死であった。その後の調査で、特に過重な業務に従事していたと認められた。
3	2月 17時頃	土木工事業 1名～9名	掘削用機械 激突され	掘削用機械を4tトラックの荷台に乗せようとした際に、掘削用機械が倒れてアームの下敷きになったもの。道板は使用していなかった。
4	2月 6時頃	化学工業 1名～9名	爆発性の物 火災	始業前の早朝に工場建屋から出火し、焼け跡から被災者の遺体が発見されたもの。
5	2月 16時頃	広告・あっせん業 10名～29名	乗用車、バス、 バイク 交通事故(道路)	配送業務終了後に事業場に戻る途中、国道1号線を走行中、被災者が運転する車が反対車線に飛び出して大型貨物車と衝突したもの。
6	2月 6時頃	清掃・と畜業 (ビルメンテナンス業) 1名～9名	階段、棧橋 墜落、転落	ビルの内部階段でモップを用いての清掃作業中に転倒し踊り場に転落したもの。
7	3月 10時頃	食料品製造業 100名～299名	食品加工用機械 はさまれ、 巻き込まれ	食料品加工工場内で製品の具材を攪拌機で攪拌する作業中、攪拌機の回転している羽に身体が巻き込まれて死亡したものの。

平成29年 死亡災害の概要

神 奈 川 労 働 局
〔確定版〕

番号	発生月 発生時刻	業 種 事業場規模	起因物 事故の型	発 生 概 要
8	3月 16時頃	土木工事業 10名～29名	玉掛用具 飛来、落下	桁製作ヤード内において、橋型クレーンを使用して鋼製型枠（総重量1.8t）を2本のナイロンスリングで玉掛けし吊り上げて移動中、1本のスリングが切断して荷が傾斜しながら落下、もう1本のスリングも切断した。このため鋼製型枠が落下、下にあった発電機に当たって跳ね返り、そばにいたクレーン操作者に激突したものの。
9	3月 16時頃	陸上貨物運送事業 10名～29名	はしご等 墜落、転落	客先にて、トラックに載せた積荷にシートをかける作業を行っていた際、脚立の上に乗って作業していたところ、脚立から墜落したものの。
10	4月 16時頃	陸上貨物運送事業 10名～29名	フォークリフト 激突され	コンテナ内において、被災者が1番奥に積込まれた荷の固定状況をカメラで撮影していたところ、荷を載せたフォークリフトの運転手がそれに気づかずコンテナ内に進入したため、激突された後、1番奥の荷とフォークリフトで運ばれた荷の間に挟まれたままとなったもの。
11	4月 23時頃	陸上貨物運送事業 30名～49名	トラック 交通事故(道路)	トラックで取引先の印刷工場から翌日の朝刊を配送するため、国道を走行していたところ、交差点を直進で進入中に反対車線から右折してきた乗用車に衝突され、トラックが横転した。搬送先病院で死亡が確認された。
12	4月 10時頃	その他の鉄鋼業 30名～49名	玉掛け用具 はさまれ、巻き込まれ	クレーンを使用して鉄板の束の積み替え作業中、玉掛け用具（ハッカー）の一部が近接した荷の山（鉄板の束を重ねたもの）の上部に接触し、ハッカーが鉄板の束から外れた。ついていた鉄板の束が崩れたことによりクレーンを操作していた被災者が後方にあった別の荷の山との間に挟まれたもの。
13	5月 10時頃	その他の商業 50名～99名	玉掛け用具 はさまれ、巻き込まれ	自社敷地内において移動式クレーンを使用して敷鉄板の移動を行っていた。敷鉄板の片側を接地した状態で引き起こし、被災者が敷鉄板に付いた土を取り除こうと敷鉄板に接近した際、敷鉄板の穴の部分にかけていた玉掛け用フックが外れ敷鉄板が被災者側に倒れてきたもの。
14	5月 13時頃	その他の小売業 10名～29名	トラック 墜落、転落	得意先のイベントで商品の展示販売を行い、展示品の撤収作業中、展示品を積んだトラックの荷台に被災者は乗って展示場内を移動していた。トラックが左折した際、荷台で転倒、トラックから地上面へ落下し頭部を打撲したものの。病院に運ばれ治療を受けたが数日後に死亡した。

平成29年 死亡災害の概要

神 奈 川 労 働 局
〔確定版〕

番号	発生月 発生時刻	業 種 事業場規模	起因物 事故の型	発生概要
15	5月 21時頃	その他の医療保健業 10名～29名	バイク 交通事故(道路)	被災者は所属事業場から他の事業場に向かうため、大型自動二輪車で道路を直進中、薬局の駐車場に入るために右折した普通自動車と接触したものの。
16	6月 11時頃	建築工事業 1名～9名	その他の仮設物、建築物、構築物等 飛来、落下	免震用の仮設ブレース（H鋼材、長さ5メートル、重さ約1.75トン）の取り外し作業のため手動のチェーンブロック2個を使用して仮設ブレースを吊り上げていたが、仮設H鋼材が振れたため、チェーンブロックのアンカー部分に衝撃が加わりチェーンブロック及び仮設ブレースが落下、直下にいた被災者に当たり、被災者は床面との間に挟まれたもの。
17	7月 9時頃	食料品製造業 30名～49名	はしご等 墜落、転落	工場内の搬入扉から冷凍マグロを受け入れる作業中、最大高さ約1.28mの台に上がり、冷凍マグロを手かぎを使って引き込んでいたところ、被災者が台の上から床面に転落し、肝臓破裂による出血により死亡したものの。
18	7月 10時頃	清掃・と畜業 (ビルメンテナンス業) 300名～	開口部 おぼれ	マンション内の清掃業務を行っていた被災者が、敷地内にある雨水枡の蓋を開け、枡内に自身の右腕を入れ、そのまま枡内を覗き込む形で上体を入れた後、枡内に頭から落ち込んで脱出できなくなり、雨水枡内部に溜まっていた水（水位約12cm）を吸入したことにより、溺死したものの。
19	7月 10時頃	建築工事業 1名～9名	屋根、はり、もや、けた、合掌 墜落、転落	工場のスレート屋根を補修する作業を行っていた労働者が、休憩を終えて作業箇所へ移動していたところ、スレートを踏み抜いて約4メートル下のコンクリート上に墜落したものの。
20	8月 15時頃	清掃・と畜業 10名～29名	トラック 墜落、転落	被災者と運転手の2人で貨物自動車です町内の資源ごみを回収。プラント内で計量終了後、車体後方のあおりを下げて古着置場で古着を荷卸しした後、ペットボトル置場に移動するため、被災者を貨物自動車の荷台に乗せて、あおりを下げたまま時速5km程度で50メートル程度移動したところ、被災者が墜落したものの。
21	8月 9時頃	教育・研究業 300名～	建築物、構築物 墜落、転落	当該事業場の屋外通路外側の区域の除草作業を行うにあたり、除草する区域における蜂の巣の有無の確認を熊手を用いて行っていた際、誤って開口部より約5メートル下の地下駐車場に墜落したものの。屋外通路と除草する区域の間には手すりが設けられていたが、手すりを乗り越えて作業する区域に立ち入る必要があったものの。

平成29年 死亡災害の概要

神奈川県労働局
〔確定版〕

番号	発生月 発生時刻	業種 事業場規模	起因物 事故の型	発生概要
22	9月 3時頃	清掃・と畜業 50名～99名	コンベア はさまれ、 巻き込まれ	修理業者が産業廃棄物の選別・破砕等を行う処理施設に設置されているコンベアの修理作業を行っていたが、修理作業が終わり試運転させたところ、異音が発生したため直ちに停止させて周辺を確認したところ、付近でコンベア部品の加工作業をしていた当該事業場の作業員が当該コンベアに巻き込まれていたもの。
23	9月 12時頃	その他の事業 1名～9名	エレベータ、リフト はさまれ、 巻き込まれ	病院内の入院患者用の食事を運搬するために設置された小荷物昇降機の不具合を確認するため、5階の荷の積卸口において戸を全開にして、搬器を50～60センチ下げた状態で頭部から胸部を昇降路内に入れていたところ、上昇してきた搬器の上部と荷の積卸口にはさまれたもの。
24	9月 6時頃	金属製品製造業 30名～49名	その他の動力運搬機 はさまれ、 巻き込まれ	自動めっき装置ラインにおいて、製品を各めっき槽に投入する搬送機械が下降してきたところに体が挟まれてしまったもの。 めっき槽と搬送機械のラインは、途中でUターンしている形状で、搬送機械は、横移動→下降→上昇→横移動を繰り返している。
25	9月 1時頃	警備業 300名～	その他の装置、設備 はさまれ、 巻き込まれ	被災者は商業店舗の警備を行っていたが、店舗の従業員が店舗の営業時間が終了後帰る際に、駐車場のシャッターが完全に閉まっていなかったのを確認したところ、被災者がシャッターと乗っていたバイクに挟まれていたもの。
26	9月 8月時頃	建築工事業 1名～9名	乗用車、バス、 バイク 交通事故(道路)	被災者は、当日作業予定の現場に向かう前に前日に完工した建設現場に置き忘れた会社所有の工具を取りに行くため、自宅から当該現場にバイクで向かう途中、赤信号の交差点を直進して右折車両と衝突したもの。被災者は、工具を回収した後、そのまま当日作業予定の現場へ向かう予定であった。調査の結果、業務上災害と認定された。
27	10月 10時頃	製造業 100名～299名	トラック はさまれ、 巻き込まれ	製品の原料物質（液状）を運搬してきたタンクローリーが所定の荷卸し場手前に一旦停止、再度前進したところ、後部バルブを開けようとローリーの車台後部に乗った荷卸し作業員（派遣労働者）が車台から転落、ローリーの後部車輪に轢かれ死亡したもの。
28	12月 14時頃	土木工事業 1名～9名	高所作業車 はさまれ、 巻き込まれ	高所作業車（トラック式）2台を使用して、隧道補修作業を行っていた際、作業箇所変更のため、高所作業車の運転者である被災者がアウトリガーのジャッキを上げたところ高所作業車が逸走し、もう一台の高所作業車との間に挟まれたもの。

平成29年 死亡災害の概要

神 奈 川 労 働 局
〔確定版〕

番号	発生月 発生時刻	業 種 事業場規模	起因物 事故の型	発生概要
29	12月 10時頃	その他の事業 10名～29名	建築物、構築物 墜落、転落	被災者は一人で戸建住宅の完了検査を行っていたが、隣地の敷地内に倒れているところを発見されたもの。完了検査を行っていた建物の敷地との間には約1.6メートルの段差があった。
30	1月 4時頃	陸上貨物運送事業 10名～29名	その他 起因物なし	夜勤乗務中、無線で連絡がとれなくなった被災者が道路脇に停まった車両の運転席で心肺停止の状態で見倒れているのを発見されたもの。その後の調査で過重な業務に従事していたことが認められたもの。
31				
32				
33				
34				
35				